

2019年9月5日

各位

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 久保 泰三
(コード番号2784 東証一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 根本 壮一
(TEL:03-5219-5102)

アルフレッサ ファーマ株式会社が岡山県勝央町と 「企業との協働の森づくり」協定を締結

当社の子会社であるアルフレッサ ファーマ株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:島田浩一、以下「アルフレッサ ファーマ」といいます)は、岡山県勝央町と「企業との協働の森づくり」協定を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 「企業との協働の森づくり」協定締結の目的

アルフレッサグループは「19-21 中期経営計画 さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～」において、持続的成長によりサステナブルな社会に貢献するため、ESG重要課題の中に「環境への配慮」、「地域社会への貢献」を掲げております。

アルフレッサグループにおいて医薬品等製造事業を担うアルフレッサ ファーマは、国内に2か所(岡山製薬工場:岡山県勝田郡勝央町、千葉工場:千葉県野田市)の生産拠点を有し、医薬品、診断薬、医療機器、医薬品原材料等の製造・輸出入・販売を行っています。

医薬品および診断薬の生産を行う岡山製薬工場では1981年の建設以来、勝央工業団地のスポーツイベントに参加、工業団地オープンファクトリーへの展示ブース出展、春と秋の交通安全運動週間における主要交差点での街頭活動、勝央町初期消火消防訓練への参加や工場周辺の清掃活動を行うなど、積極的に「地域社会への貢献」をはかってまいりました。

今回勝央町と締結した協定は、勝央町における森づくり事業として初めてのものであり、対象となる親水公園として整備された遊歩道周辺の森林は台風などの影響により倒木などが多く、地域住民からも整備が望まれています。「企業との協働の森づくり」協定は、森林の二酸化炭素吸収量増加および森林保全への貢献を目的としており、本協定を締結することにより「環境への配慮」にも取り組んでまいります。

2. 「企業との協働の森づくり」協定の概要

- (1) 名称 「アルフレッサ ファーマの森 勝央町金山谷池親水公園」
- (2) 場所 岡山県勝田郡勝央町植月中
- (3) 面積 7.35ヘクタール
- (4) 協定期間 2019年7月8日～2024年3月31日
- (5) 活動内容 「企業との協働の森づくり」活動は、企業が森林の植栽や間伐に協働することで、森林の二酸化炭素の吸収量の増加や、森林保全への貢献を目的としています。
- (6) CO₂削減効果 28トン/5年

以上

2019年8月22日に行われた「アルフレッサ ファーマの森」協定調印式



【写真右】岡山県勝央町長 水嶋淳治 様

【写真左】アルフレッサ ファーマ(株) 取締役 専務執行役員 武田武

アルフレッサ ファーマの森 勝央町金山谷池親水公園

